| 科目ナンバリング | U-LAS04 10001 LJ47 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<英訳> | 教育学Ⅰ<br>Pedagogy I | | | 担当者所属職名・氏名 | 人間・環境学研究科 教授 | 倉石　一郎 | |
| 群 | 人文・社会科学科目群 | 分野(分類) | 教育・心理・社会(基礎) | 使用言語 | 日本語 | | |
| 旧群 | A群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 講義（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2026・前期 | 曜時限 | 木3/金3 | 配当学年 | 全回生 | 対象学生 | 全学向 |

**[授業の概要・目的]**

この授業では、教育現象を社会的広がりの中に位置づけて捉える視点、すなわち教育社会学的なものの見方を学ぶ。古今東西の、学校や教師、子どもの生きる世界をビビッドに描いた映画・文学作品・漫画などを手がかりにして、そこに表現された教育問題を社会や歴史の中に位置づける視点を学び、それを理論化する道すじについても講述する。

**[到達目標]**

教育現象を社会的広がりの中で捉える視点の獲得、および批判的思考方法の獲得をめざす。

**[授業計画と内容]**

１回．教育社会学のパースペクティブとは
２～４回．光の学校、影の学校
　（１）公教育・教育行政からみた学習塾―森絵都『みかづき』
　（２）教室の「島宇宙」からスクールカーストへ―『ブレックファストクラブ』
　（３）いじめ防止のための理論と取組み
５～８回．分ける教育／分けない教育
　（１）男女別学・共学―壺井栄『二十四の瞳』
　（２）部落をめぐる排除のポリティクス―島崎藤村『破戒』
　（３）「愛とあわれみ」の教育からの脱却―『奇跡の人』
　（４）その他のさまざまな排除問題
９回～１１回．社会としての学校／社会のなかの学校
　（１）子どもだけの世界と暴力―藤子不二雄A『少年時代』
　（２）教科書問題に見る平準化と統制のジレンマー『たたかいは炎のように』
　（３）「ありのままを書く」ことの矛盾―豊田正子『綴方教室』
１２～１４回．良い生／悪い生／唯の生
　（１）なぜ私たちは「良き生」への執着を手放しがたいのか―『きみはいい子』
　（２）社会的オジと安保闘争―『君たちはどう生きるか』『滑走路：歌集』
　（３）現代の子どもたちの生きがたさと教育の役割
≪期末試験≫
１５回．フィードバック

**[履修要件]**

特になし

**[成績評価の方法・観点]**

期末試験で評価する。

教育学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

**教育学Ⅰ(2)**

**[教科書]**

倉石一郎『映像と旅する教育学：歴史・経験のトビラをひらく』（昭和堂）ISBN:9784812223109

**[参考書等]**

（参考書）
授業中に紹介する

**[授業外学修（予習・復習）等]**

授業後に教科書を読み直し、ノートをよく見返すこと。

**[その他（オフィスアワー等）]**

特になし。

**[主要授業科目（学部・学科名）]**

総合人間学部